

公立大学法人札幌市立大学中期目標（第四期）について（概要）

1 法人・大学の概要

(1) 開学

平成18年4月

(2) 法人の理念・目的

理 念	○人間重視を根幹とした人材の育成 デザイン学と看護学に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる職業人を育成するとともに、知識・技術に加え、教養と人間性をかん養し、有為な人材を育成する。
	○地域社会への積極的な貢献 「市民が開かれた大学」、「市民の力になる大学」、「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げ、地域貢献という使命を果たし続けていくため、質の高い教育研究を追求する。
目 的	○学術研究の高度化等に対応した職業人の育成 デザイン分野においては、幅広いデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、看護分野においては、医療の高度化に対応する知識・技術に加え、問題解決能力を有し、他職種と連携できる職業人の育成を目指す。
	○知と創造の拠点 産業や芸術・文化の振興、都市機能・都市景観の向上、市民の健康保持・増進などへの貢献を果たす。また、札幌市の行政施策との緊密な連携によって、地域課題の解決に積極的に取り組み、その成果を広く市民に還元し地域貢献を実現する。

(3) 学部等の構成、収容定員

	学部（専攻科を除く。）	専攻科	博士前期課程	博士後期課程
デザイン	360	—	36	9
看護	340	10(助産学)	36	9

2 中期目標と中期計画について

中期目標	設立団体の長（札幌市長）が、法人（札幌市立大学）に対して、6年間で達成すべき業務運営に関する目標を定め、法人に指示するもの。
中期計画	設立団体の長が指示した中期目標を達成するために、法人が計画を作成し、設立団体の長が認可を行うもの。

3 これまでの成果

第一期中期目標・計画期間（平成18年4月1日～平成24年3月31日）

【大学基盤の構築】

- 共通教育、学部の専門教育の双方に熱心に取り組み、広い視野を持つ人材を育成
- 助産学専攻科開設、大学院の設置

第二期中期目標・計画期間（平成24年4月1日～平成30年3月31日）

【地域志向の大学づくり】

- 地域志向の教育（科目）の充実
- COC事業※の展開（※自治体と連携し地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める事業）

第三期中期目標・計画期間（平成30年4月1日～令和6年3月31日）

【市民が実感できる成果の追求】

- A I Tセンターの開設により、D×NをA I ・ I Tにより下支えする先進的な研究や教育の質の向上を推進
- 「看護コンソーシアム※」を基盤とした地域で活躍する看護職を育成（※医療機関等と連携し、社会ニーズに対応できる看護システムの構築や看護の質の保証などを目指す共同体）

4 中期目標（第四期）（案）の概要

中期目標の基本的な考え方

平成18年4月に開学した札幌市立大学は、「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を教育研究上の理念として掲げ、「D×N」（デザインと看護の連携）により教育・研究・地域貢献に取り組んできた。さらに令和4年4月からは、A I Tセンターを開設し、「D×N」をA I・I Tが下支えする先進的な研究や教育の質の更なる向上を推進してきた。

昨今は、デジタル化・脱炭素化の世界的な潮流や、グローバル競争の激化、人口減少・少子高齢化の進行など多種多様な課題が取り巻いており、今なお変化途上の予測不能な時代の渦中にある。今後も一層、複雑性を増していくことが想定される社会環境下においては、普遍的知識・能力で状況を打開し課題解決に導く人材が重視されており、高等教育を担う大学には未来を支える人材の育成が求められている。そして、札幌市立大学は、「知と創造の拠点」として、これまで培ってきた実績やネットワークを生かし、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」により分野横断的に取り組むこととされている、ユニバーサル（共生）・ウェルネス（健康）・スマート（快適・先端）・人口減少緩和に関する課題解決に貢献していくことも期待されている。

こうした背景を踏まえ、第四期の中期目標においては、リベラルアーツやデジタル分野の素養を備えた人材育成を強化していくとともに、産学官連携の中心として地域に貢献していくことで、市民が価値を実感し、誇れる大学を目指す。特に、A I Tセンターの強みを生かし、D（デザイン）とN（看護）にA（A I・I T）を掛け合わせた「DNA」連携を推進することで、教育・研究・地域貢献の取組を更なる高みへと押し上げ、市民や地域社会へ成果を還元するとともに、広報マネジメントを強化することにより、国内外におけるプレゼンスを高めていく。

第1 目標期間 令和6年4月1日～令和12年3月31日

第2 教育に関する目標（第2～第5の下線部は中期目標（第四期）において新たに明記した項目や視点）

「DNA」連携の推進により、各分野における専門性・実践能力を有し、幅広い教養やA I・I Tの活用力、環境共生の知見を備え、主体性を持って、新たな価値を創造しながら未来を切り開いていくことのできる人材を育成する。

第3 研究に関する目標

- ①「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」を踏まえ、社会課題解決に資する研究を推進し、市民の実感に結びつく成果を追求する。
- ②「DNA」連携による先進的で質の高い研究を推進し、研究成果やその活用事例を積極的に公表・発信し外部資金獲得につなげていくとともに、研究機関としての地位の向上を図る。

第4 地域貢献に関する目標

- ①産学官連携を通して地域課題の解決に取り組むとともに、知的資源の還元等により健康寿命の延伸、防災・減災の推進及び地域コミュニティの振興に貢献する。
- ②デジタル・看護分野のスキル習得プログラム等の学び直しの機会の提供による人材の育成・創出やニーズに即した新たな価値の創造・人材の育成を通じ、地域産業の振興及び地域医療の充実に貢献する。

第5 大学運営に関する目標

- ①海外提携校との研究交流等による国際化及び戦略的な広報等によるプレゼンスの向上
- ②戦略的な運営やワーク・ライフ・バランスの向上、デジタル化による業務改善及び効率化
- ③自己点検・評価の実施、経営状況等の適切な情報公開
- ④外部競争資金、寄附金等の自己収入の獲得及び資産の適正管理と有効活用
- ⑤災害や感染症等の有事に備えた施設・備品等の維持管理、脱炭素社会の実現への貢献など